

# はじめての 札幌大学卓球部

2024年度



# ENTRY GUIDE



## 札幌大学卓球部について

札幌大学卓球部は開学と同時に発足し、北海道学生男子1部リーグから唯一、一度も降格せずに戦い続けています。2023年のインカレでは北海道史上初の6年連続決勝トーナメント進出を果たしました。全日本選手権にも2022年、2023年と出場者を輩出しており、「北海道から全国へ」「北海道の歴史を塗り替える」を合言葉に日々練習に励んでいます。

また、2024年3月29日に包括連携協定を締結した留萌市にて講習会を開催するなど、卓球を通じての普及活動や地域貢献活動にも尽力しています。競技を楽しむことや上達する喜び、交流で深まる人と人との繋がりなど、スポーツが本来持っている原点を感じる機会を増やすことで、競技力だけでなく人間力向上にも力を入れています。

自由な環境で挑戦し、成長できる。



札幌大学卓球部は良い意味で「自由」です。授業が最優先という前提で部活をしっかりこなしていれば、アルバイトも許可されています。監督ら指導陣のサポートも受けながらですが、基本的には学生中心で運営しています。

私は入学後成長を実感しており、北海道選手権で卓球人生初の全日本選手権シングルの代表決定戦まで勝ち進むことができました。最後の年は通過を目指して練習に励んでいきたいと思っています。

「北海道の歴史を塗り替える」とともに自分自身の最高記録を塗り替えることもできるので、ぜひ入学をお待ちしています！

男子キャプテン 伊藤楓真  
4年／北海道科学大学高出身

明るくフレンドリーな雰囲気です。



札幌大学卓球部は、皆が明るくフレンドリーな雰囲気なので、先輩後輩、男女関係なくコミュニケーションがとりやすく、風通しの良い部活動です。監督やコーチ陣は、的確なアドバイスしてくれますし、自分たちがやりやすいような環境作りもしてくれますが、高校までとは違い、学生主体での部活動の運営となるため、自主性を重んじた卓球生活となります。

私自身も周りに流されないようになってきたり、言い訳をせずにやるべきことをやるようになってきたり、日々成長を実感しています。そんな中、全日学シングルスで代表を取れたことは、私にとっても大きな自信になりました。卓球面だけでなく、人間面でも成長したい方はぜひ札幌大学卓球部でプレーしてほしいと思っています。

女子キャプテン 市嶋ほのみ  
4年／北海道・札幌大谷高出身

# ABOUT

# SUPPORT

手厚いサポート、  
多種多様な専攻選択  
柔軟な進路選択



札幌大学卓球部では、スポーツの才能を伸ばすだけでなく、

学生の将来設計にも積極的に貢献しています。

多彩な支援制度と柔軟な教育プログラムを通じて、

各学生が自分の可能性を最大限に引き出せるようサポートしています。

## SUPPORT SYSTEM

### ● 補助金制度

全国大会含む遠征時には成績に応じた大学からの補助金支給だけでなく、後援会やOB会、協賛企業からの補助金支給があります。



### ● 授業料制度

授業料については特待制度による授業料減免に加え、個人および協賛企業からの卓球部独自の選手応援金制度による支援があります。

### ● 専攻選択

他大学のスポーツ推薦では入る学部が決められていることも多い中、札幌大学では、好きな専攻を選ぶことができます。1学群8専攻と多くの選択肢がある上に、受験時に将来の進路を決められないという学生に向けて、専攻選択せずに入学し、2年生時に決定・変更するという珍しい方法（レイターマッチング制度）も可能です。





# VOICE

## 1年生に聞いた!進学&入部した理由

札幌大学卓球部に所属する選手たちに入部・進学した理由を聞いてみました。



齋藤颯也  
1年/青森県  
東奥学園高出身

私が札幌大学に進路を決めた理由は、入学前、練習に参加させていただいた際に、練習の雰囲気がとても良いと感じたからです。先輩方や、指導して下さる監督、コーチの方々から、卓球に対する熱意がものすごく伝わってきました。だからこの環境で卓球がしたいと思い決定しました。また、札幌大学にはレイトーマッチング制度というものがあるのも決め手のひとつです。この制度は、専攻を決めて入学し、もしそれが自分に合わなかった際にもう一度専攻を変えることが出来る制度です。私は専攻選びが不安でしたが、この制度があることで安心して専攻を選ぶことが出来ました。



星圭太  
1年/北海道  
北海道科学大学高出身

札幌大学卓球部は、常に北海道の大会で団体も個人も上位に入っていて、部活の雰囲気も良く、自分が成長できると感じました。卒業後はスポーツ指導員を目指していて札幌大学にはスポーツについて深く学べる専攻あったので進学を決めました。



田名部咲  
1年/青森県  
八戸学院光星高出身

青森の練習会で札幌大学が来てくださった際に声をかけていただき、熱心に練習にも取り組んでおり、とても雰囲気がよくそれが行く決め手になりました。

将来になりたい職業に近づける経営学専攻があったこと札幌大学はいろいろな授業の単位を取る事ができると聞いて、学業面でもとても魅力的だと感じました。

専門学校に進学するか悩んだのですが、卓球に打ち込めるのは大学までなので、悔いの残らないように卓球、学業に取り組んでいきたいと思い、進学を決めました。



伊藤優之介  
1年/北海道  
札幌北斗高出身

高校の先輩や県トップでプレーしていた方達と練習することで、自分の成長にもつながると感じたことや、経営学専攻は企業の在り方のほかにも教員免許を取得できるので進路の幅が広がると感じました。



佐藤美佐希  
1年/宮城県  
聖ウルスラ学院英智高出身

卓球に打ち込める環境が整っており、先生や先輩方が温かくて、いい雰囲気だと思いました。将来やりたいことを大学や地域を通して学ぶことができるため、入学したいと考えました。

# CAREER PATH

## 札幌大学卓球部の 進路状況



### 卒業後の進路 進路決定率100%・留年率0%

卓球部では監督、コーチが1人1人の授業への毎日の出席状況や成績をチェックし、年3~4回定期個人面談を行ないます。単位修得状況や部活動等含む生活状況を保護者の方々と共有しています。また、好ましくない状況の場合は早めに本人と面談・指導に加え、保護者の方とも連携をとっています。本体制になってからは進路決定率100%、留年率0%を維持しています。

**卓球部就職実績:** 北海道庁\*、北海道警察、石狩市役所\*、上砂川役場、江別市役所、北広島市役所、標津町役場、新篠津村役場、月形町役場、当別町役場、広尾町役場、森町役場、余市町役場、留萌中学校、北海道遠軽高等学校、北海道北見工業高等学校、学校法人北海道科学大学、学校法人札幌大学、学校法人アソカ学園島松幼稚園、学校法人江別若葉学園認定こども園元江別わかば幼稚園、日本郵政株式会社、札幌中央信用組合\*、北央信用組合、北海道信用金庫、福岡ひびき信用金庫\*、札内農業協同組合、JAとまこまい広域、道央農業協同組合、ピンネ農業協同組合本所、株式会社VICTAS、株式会社アクアクラレモン、株式会社エイチ・エル・シー、株式会社協成、株式会社クリエイティブ・コンサルタント、株式会社新和グローバル、株式会社ジョイフルエーカー\*、株式会社スズケン、株式会社ゼンショーホールディングス、株式会社ツルハ、株式会社トーヨータイヤジャパン、株式会社十勝大福本舗、株式会社バリエ、株式会社バンブー竹の葉薬局、株式会社ヒマラヤ、株式会社フジネット\*、株式会社北海道ジーエス・ユアササービス、株式会社ヴァンガードネットワークス、株式会社リアルグローウ、株式会社GENOVA\*、アーチストエージェント株式会社、イコマ北海道株式会社、石上車輛株式会社、大石産業株式会社\*、奥村食品工業株式会社、北ガスフレアスト株式会社、札幌トヨタ自動車株式会社\*、豊商事株式会社、北海道電気工業株式会社、ヤマト運輸株式会社、横山食品株式会社、ISA株式会社\*、有限会社エイチ・ビー・エヌ、社会医療法人仁陽会西岡第一病院、社会福祉法人ノテ福祉会、進学>(\*2023年度卒業生進路先)

## 教員の夢を抱き、進学する選手もいます。



穴原徹大  
1年/栃木県・青藍泰斗高出身

練習に参加して、卓球部の雰囲気と自主性に魅力を感じたのと、インターハイシングルス県予選の時に、監督がわざわざ北海道から栃木まで観に来てくれたことも決め手の1つです。「北海道の歴史を塗り替える」という目標のピースになりたいと強く感じました。また、8つの専攻から学びたい学問を選べるため、英語教員になりたいという自分の夢が叶う環境が揃っていることも大きかったです



宅間菜帆  
1年/島根県・明誠高出身

大好きな卓球を続けながら、将来の夢である保健体育教員を目指したいと考えていました。札幌大学は、自分の好きな専攻を選ぶことができるため、将来の夢に向かって勉強することができる環境が整っており、進学を決めました。また、卓球部は、様々な全国大会に出場している強豪であり、先輩方の雰囲気がよく、力をつけるためのサポート体制が厚く、強くなるための環境が整っており、自分も強くなることができると考え、進学を決めました。

参考:

### 免許状の種類と 免許教科・科目

※スポーツ文化専攻開設の特別支援学校教諭課程の単位を取得・申請することが必要となります。

専攻	中学校教諭一種	高等学校教諭一種	特別支援学校教諭一種
経営学専攻		商業、情報	※
法学専攻	社会	公民	※
英語専攻	英語	英語	※
歴史文化専攻	社会	地理歴史	※
日本語・日本語文化専攻	国語	国語	※
スポーツ文化専攻	保健体育	保健体育	◎

# 札幌大学卓球部の

## データ

# DATA

### チーム概要

男子27名(1年生9名、2年生8名、3年生7名、4年生3名)  
女子13名(1年生5名、2年生2名、3年生3名、4年生3名)

### チームスタッフ

顧問・監督: 藤倉 健太(本学職員)  
総監督: 高橋 春雄(本学OB)  
コーチ: 荻原 直子(外部コーチ)、三和 拓蒼(本学OB)、  
佐々木 直哉(本学OB)

### 費用

- ①部費: 2,000円(1年間) ※必要に応じて発生する場合があります。
- ②各連盟・協会登録料
- ③各大会・合宿・遠征参加費(交通費・宿泊費含む)
- ④ジャージ・ユニフォーム: 50,000~60,000円程度(2023年実績、入学時)  
※全国大会は、成績に応じて大学から補助金5,000円~50,000円が支給されます。

### メンバー出身校

北海道科学大学高校、札幌大谷高校、札幌龍谷学園高校、札幌北斗高校、札幌日本大学高校、北海高校、駒澤大学附属苫小牧高校、旭川実業高校、帯広大谷高校、函館大妻高校、留萌高校、東奥学園高校(青森)、八戸学院光星高校(青森)、弘前実業高校(青森)、聖ウルスラ学院英智高校(宮城)、古川学園高校(宮城)、青藍泰斗高校(栃木)、富田高校(岐阜)、甲府南高校(山梨)、明誠高校(島根)、明德義塾高校(高知)、未来高校松山本校(愛媛)

※道外は卒業生含む

### 2023 シーズン戦績 ※最高成績のみ

- 北海道春季学生卓球選手権大会  
【団体】優勝 【シングルス】優勝 【ダブルス】優勝
- 全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部)北海道予選  
【団体】準優勝
- 会長杯争奪卓球大会  
【シングルス】優勝 【ダブルス】優勝
- 全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部)  
【団体】ベスト32(決勝トーナメント1回戦)
- 全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)北海道予選  
【シングルス】優勝(7名代表) 【ダブルス】準優勝(5組代表)
- 全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)  
【シングルス】2回戦 【ダブルス】1回戦
- 北海道秋季学生卓球選手権大会  
【団体】準優勝 【シングルス】準優勝 【ダブルス】優勝
- 全日本学生選抜卓球選手権大会  
【シングルス】予選リーグ6位
- 北海道新人学生卓球選手権大会  
【シングルス】優勝 【ダブルス】優勝
- 北海道卓球選手権大会 兼 全日本卓球選手権大会予選  
【シングルス】ベスト16 【ダブルス】ベスト4(代表権獲得)
- 全日本卓球選手権大会  
【ダブルス】1回戦

卓球メディアRallysに掲載された  
札幌大卓球部特集インタビュー  
(2020年11月) 詳しくはこちら>



Rallys

本誌は「Rallys」の協力の元作成されました

Copyright © 2024 Sapporo University. All rights reserved.